

## 国際交流ライブラリー講演会の開催結果について

鳥取県立図書館では、環日本海諸国をはじめとする各国の地域文化・歴史等について理解を深めること、及び図書館の利用促進を図ることを目的として、国際交流ライブラリー講演会（年3回）を市町村立図書館とも共催しながら実施しましたので、その結果について報告します。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、講師とはリモート中継とし、サテライト会場や自宅等からのオンライン視聴も可能としました。

### 1 第1回

(1) 日時 令和3年11月20日（土） 午後1時30分から午後3時まで

(2) 主会場 鳥取県立図書館

(3) 内容

ア 演題 「ロシアの食・世界の食」

イ 講師 沼野 恭子 氏（東京外国語大学教授）

ウ 内容 ロシアの食文化の特徴を歴史的観点から解説し、それがどのように文学で描かれているかを紹介された。また、世界の食の課題や、ロシア文学に描かれた恋愛についても触れられた。

(4) 参加者の感想

- ・文学の楽しみ方や、文学の奥深さを感じた。先生の本も紹介された文学も読んでみたいと思った。
- ・今ロシア料理に興味があるので、とても楽しく聞かせていただいた。ロシア語や文学に関した初めて知ることがたくさんあった。

### 2 第2回

(1) 日時 令和3年12月4日（土） 午後1時30分から午後3時まで

(2) 主会場 米子市立図書館

(3) 内容

ア 演題 「物語が故郷：オーストラリアで暮らし、絵本を作って」

イ 講師 渡辺 鉄太 氏（子どもの本作家）

ウ 内容 異文化で暮らすことや、そこで絵本を書いたり読んだりする生活について語られた。

また、子どもの本作家であった父・渡辺茂男（1928-2004）の著作についても触れられた。

(4) 共催 米子市立図書館

(5) 参加者の感想

- ・絵本作りの底流のあたたかいものが何であるのか伝わってくる講演だった。
- ・遠いオーストラリアからとは思えないくらい、音声も映像もはっきりして、とても分かりやすかった。色々な自然豊かな所での生活とか、渡辺さんの活動の話がたくさん聞いてよかった。

### 3 第3回

(1) 日時 令和4年1月30日（日） 午後1時30分から午後3時まで

(2) オンライン視聴のみで開催（新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、会場参加は中止。）

(3) 内容

ア 演題 「渋沢栄一『論語と算盤』の思想」

イ 講師 守屋 淳 氏（作家・中国古典研究家）

ウ 内容 約五百の会社、六百の社会事業にかかわった渋沢栄一について、その志のもととなった歴史的背景のもとに、彼の「論語と算盤」の思想を解説された。

(4) 共催 倉吉市教育委員会

(5) 参加者の感想

- ・渋沢栄一の生き方、その素晴らしさを改めて理解することができた。
- ・内容の濃い講演会で、大満足。当時の時代背景から、渋沢栄一の仕事、果たした社会活動、それを成し遂げられた志の高さまで触れられ、素晴らしかった。
- ・渋沢栄一のスケールの大きい、そして理性的かつ人道的な考え方に魅力を感じた。

#### 4 会場及び参加人数

	第1回	第2回	第3回
鳥取県立図書館	36	24	6
米子市立図書館	—	21	—
倉吉市立図書館	1	2	2
南部町立図書館	—	5	2
江府町立図書館	—	3	—
ちえの森ちづ図書館	1	1	—
オンライン視聴	25	63	93
合計(人数)	63	119	103

#### 5 成果と今後の取組

- 参加方法をオンライン視聴、主会場又はサテライト会場への参加のいずれかを選択できるようにし、各自の都合の良い場所で聴講（視聴）できるようにしたため、多くの県民の参加があり、満足度も高かった。
- 講演会に参加して各テーマや講師に興味を持たれた参加者が多く、国際理解や生涯学習のきっかけになっていることを改めて感じた。今後も関係機関と連携しながら開催を継続していきたい。
- 講演会開催前の図書展示、当日の関連図書の展示も多くの方に利用していただき、図書館利用の促進に繋がった。
- 来年度もハイブリッド型の講演会を開催し、全県への配信により県民が参加しやすい形式で行う予定。
- 鳥取県が交流している環日本海の国々についても、引き続き図書館としての交流や、国際理解のための活動をしていき、近隣諸国についての情報や資料を収集・発信していきたい。

(第1回)



主会場の様子（鳥取県立図書館）



展示風景（講演会場）



関連図書展示（鳥取）

(第2回)

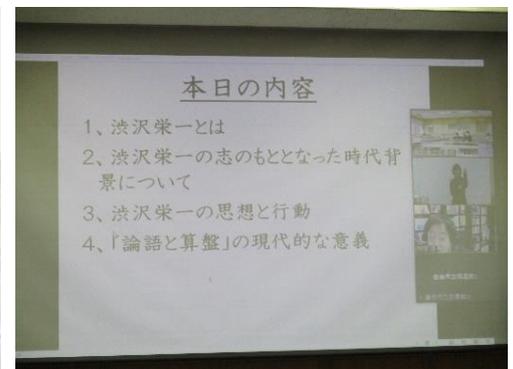


主会場の様子（米子市立図書館）



展示風景（講演会場）

(第3回)



講演会配信の様子